

地域包括ケア団地モデルについて

1 経緯

昭和40年代頃から整備が始まった大規模団地では、団地が老朽化する中、ひとり暮らしの高齢者や高齢の夫婦のみの世帯も多く、孤立化などの問題も顕著となっていることから、現在実施しているモデル事業とは異なったアプローチが必要であるため、平成27年度から高蔵寺ニュータウンを対象地域として、団地モデル事業を実施している。

2 事業内容

平成27年度に、地域の医療・福祉等関係者、学識経験者、地元自治会等で構成する地域包括ケア団地モデル検討会議を設置して検討を進め、平成28年3月には、団地における地域包括ケアの姿やそれを実現するための取組・工程などを内容とする「地域包括ケア団地モデル構想」を取りまとめたところであり、この構想の実現化を図るため、平成28年度から具体的な取組を進めている。

<検討会議での検討状況>

回数	開催年月日	検討の内容
第1回	H27. 7. 3	石尾台・高森台の現状、団地モデルの考え方と課題
第2回	H27.10.28	課題に対する取組の方向性
第3回	H28. 1. 29	具体的な取組及び工程
第4回	H28. 3. 29	団地モデル構想のとりまとめ

3 地域包括ケア団地モデル構想（概要）

○目指すべき団地モデルの姿

- 団地内に医療・介護事業や相談室等が集まった地域包括ケアの拠点があり、必要なサービス等が連携して提供されている。
- サービス付き高齢者向け住宅の整備や既存住宅のバリアフリー化などにより、高齢者が安心して生活できる住まいが確保され、見守りや生活支援サービスの提供も行われている。
- 高齢者自らが健康づくりや介護予防に取り組むとともに、気軽に集まることができる居場所において、サロン活動への参加や多世代との交流等が行われている。

<イメージ図>



地域包括ケア団地モデル事業取組状況

地域包括ケア団地モデル構想					平成28年度の取組状況	
取組	実施主体	28年度	29年度	30年度以降		
1	地域包括ケアの進め方等について検討する推進連絡会議（仮称）を設置	県市	設置	→		○団地モデル事業推進連絡会議及び3部会（「居場所づくり」、「多世代交流」、「介護予防・日常生活支援」）設置（会議3回、部会各1回開催（予定を含む））
2	県有地を活用し、診療所、訪問看護等を併設したサービス付き高齢者向け住宅、商業施設を誘致	県	公募	工事	開所 開業	○平成28年8～9月 サ高住及び商業施設について公募 ⇒ 応募なし ○平成28年11月～29年1月 サ高住について再公募 ⇒ 平成29年2月 整備事業者決定 ○商業施設については、公募への応募（県有地への出店）可能性について事業者への聴き取りを実施
3	高齢者やその家族等が気軽に立ち寄れる相談窓口を試行的に設置	市	検討 試行的 設置	→	開設	<検討> ○居場所に定期的な相談窓口設置 ○中部大学学生（保健師志望）による家庭訪問
4	団地再生事業の整備後の敷地等を活用し、医療、介護、子育て支援等のサービス拠点施設を誘致	UR	ヒアリング 検討	→	公募	○団地の規模を縮小しつつ、地域の需要に合わせた新しい機能の導入を図る集約型団地再生事業の実施に向け、団地居住者に対して、平成30年7月の移転に関する条件についての調整を実施している。
5	団地再生事業区域にある既存住棟をサービス付き高齢者向け住宅として活用することを検討	UR	ヒアリング 検討	→	公募 改修 入居	
6	県営住宅に居住する高齢者の状況や課題を把握し、住まいの確保策について検討	県	調査	検討	→	○県営住宅に居住する高齢者状況調査を実施 ○県庁内に地域包括ケア住まい対策庁内連携会議を設置し、高齢者の住まい対策について検討（2回開催）
7	地域の人たちが気軽に利用できる居場所を設置	市	検討 開設	→		<検討> ○居場所でサロン活動を行う団体に対する工事費及び備品整備費補助制度の創設 ○UR賃貸住宅団地集会所を活用した居場所づくり ○居場所における老人会会員が得意とする技能（ペーパークラフト等）を通じた子どもとの交流
8	高齢者・障害者施設や小・中学校との多世代交流等の企画・検討	市	検討 実施	→		<検討> ○地域イベントにおける中部大学学生によるボランティアスタッフとしての協力を通じた交流 ○高齢者施設・障害者施設における職業体験を通じた、中高生と福祉従事者・施設利用者との交流 ○自主防災組織、中高生、大学生、自治会、老人会等、地域住民多世代による防災訓練の開催
9	元気な高齢者が生きがいを持って、軽度の就労やボランティア活動できる方策を検討	市		検討	実施	
10	高齢者の孤立化を防ぐため、地域住民・ボランティア等による見守り活動の実施	市	検討 実施	→		<検討> ○中部大学学生（2～3名一組）による独居高齢者又は高齢者のみ世帯への家庭訪問 ○ゴミ出しに不自由している高齢者世帯のゴミを、通勤・通学途中にゴミステーションまで運搬
11	高森山などの地形や健康づくりリーダーなどの人材を活用した、健康づくり教室や介護予防教室を開催	市	検討 実施	→		<検討> ○地域の身近な公園や居場所においてコグニサイズが行えるよう公園の整備や道具の設置 ○地区の歩道と自然、コグニサイズ等介護予防ができる場所等を盛り込んだ「歩こうマップ」の作成
12	買い物や駅への移動等についての支援の検討	市	検討	→		<検討> ○現在行われている移動販売の地区見直し

* 取組1、3、7～12については、県から春日井市への委託事業として実施（平成28～29年度）